

Q1 「まちづくり」って、 ものすごくザックリした言葉だけれど、 そもそも何のことなの？

A. 皆さんが住んでいるまち(町内、校区)をより良くする活動が「まちづくり」です。「ごみ出しのルールを守る」「あいさつをする」といった身近で、誰でも気軽にできることから、「公園の清掃」「登下校中の子どもたちの見守り」といった地域の環境美化や安全・安心に暮らせるための活動まで、地域の中にはさまざまな「まちづくり」があります。



Q2 「まちづくり」に関わってみたい という気持ちはあるけれど、 何から始めていいのかわからない…。

A. まずは、自分が暮らしている町内や校区で、どんな「まちづくり」が行われているのかを「知る」ことから始めてみてはどうでしょう。熊本市公式LINEでは、皆さんがお住まいの地域のまちづくり情報を随時発信しています。気になる地域行事やイベントを見つけたら、そこに足を運んで地域の方々と顔見知りになることが、関わりへの第一歩になります。



熊本市
公式
LINE



「まちづくり」って
大変そう…

地域との
関わりが深くなると、
いろいろと
面倒では？

まちづくり Q&A

ひと口に「まちづくり」と言っても、
皆さんの頭に思い浮かぶ活動はさまざまですね。
もちろん、「まちづくりと言われても、何のことかわからない」という人もいます。
「まちづくりには、どんなものがあるのか？」
「なぜ、まちづくりを行う必要があるのか？」
などを知っておくだけでも、参加するハードルはグッと下がります。
せっかく抱いた興味・関心をしぼませないためにも、
まちづくりに関する疑問のあれこれを、今のうちに解決させましょう！



Q5 「まちづくり」に関わったら、 何が自分にメリットはあるの？

A. これまで「まちづくり」に参加したことのある方の多くが、「最初は『面倒だな』
と思っていたけれど、やってみると意外と楽しい」という感想を口にします。それが「まちづくり」の魅力の一つです。また、「まちづくり」を通して住民同士が顔見知りになると、地震や台風、水害といった大きな災害のときなどに、“お互いさま”の精神で助け合うことができます。

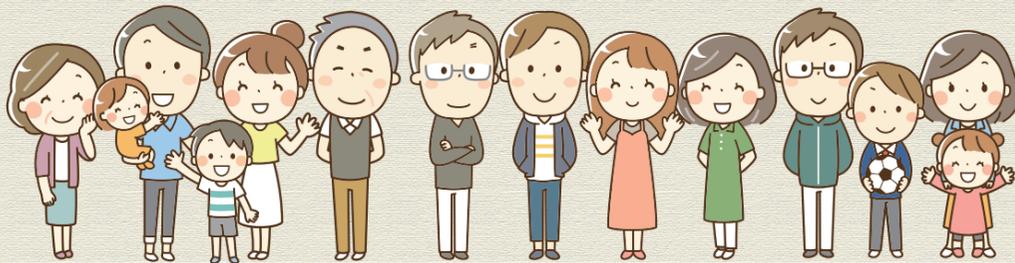


Q6 一度「まちづくり」に 関わってしまうと、ゆくゆくは役員を されられるんじゃないかと心配…

A. 最初に、「自分のできること」や「活動できる時間」をきちんと伝えておくようにしましょう。役員としての活動だけが「まちづくり」ではありません。地域では、さまざまな活動が行われており、多くの人の協力を必要としています。その中で、できることから取り組んでいけば、地域の方々もあなたの頑張りを認めてくれるはずですよ。



ぜひ皆さんも気軽に「まちづくり」に参加してみてください！



Q3 仕事や家事・子育てなどで忙しくて、 あまり時間が取れないけど、 それでも「まちづくり」には 参加できるの？

A. もちろん、忙しくても「やってみたい！」という気持ちがあればできます。例えば、「平日は仕事をしているから休日だけ」「子どもが学校に行っている昼間なら活動できそう」など、自分にできる範囲からでいいので、一人でも多くの人が関わり協力し合うことが、「まちづくり」成功の秘けつです。



Q4 「まちづくり」って、 地域の高齢の人たちがやっている イメージで、若い世代には関係ないと 思ってたけど、本当はどうなの？

A. 「まちづくり」は、決して高齢の皆さんだけで行うものではありません。「まちづくり」には多くのアイデアと力が必要なので、幅広い世代やさまざまな考えを持った人が関わるのが重要です。例えば、「パソコンが得意」「お祭りの準備のお手伝いがしたい」「地域や公園のごみ拾いくらいなら」など、あなたにもできる「まちづくり」がきっとあります。

若い世代の参加は、
いつでも大歓迎！





さあ、あなたも踏み出しましょう！
まちづくり参加への“はじめての一步”

本冊子では、まちづくりや地域活動に関する多くの事例と、
それに関わる市民の皆さんを紹介しました。
地域への愛情と熱意を持って活動している方々は、
キラキラと輝いて見えます。
冊子を読んで、「私にもできることがあるかもしれない」と思ったあなた。
ぜひ地域の“扉”をたたいてみてください。
きっと、踏み出したその一步の先には、
地域の中でいきいきと輝くあなたの姿が見えるはずです。



発行：熊本市
平成31年(2019年)3月

企画・制作：熊本日日新聞社業務推進局